

令和6年1月23日(火) 岡山県奈義町行政視察

奈義町 「子育て支援」政策について

1. 奈義町について

- ・昭和30年2月 3村合併により「奈義町」誕生
- ・平成14年12月 合併の意思を問う住民投票を行い「単独町制」を決定
- ・特色 自衛隊駐屯地が行政区の2割を占める

子育て関連施設

- ・保育園1、幼稚園2
- ・小学校1校、中学校1校
- ・子育て支援施設（チャイルドホーム）

R5.9~奈義保育園でおむつのサブスクを導入に合わせて、「災害時における救援物資の提供等に関する協定」をサービス提供会社と締結。

世帯別構成比

- ・生産年齢人口が約50%

2. 少子化対策の意義

- ・少子化対策は子育て世代だけの問題ではないため、課題を住民と一緒に考える。

若者や子育て世代が減少してしまうと、生活に必要な施設や機能、サービスを維持することは難しくなり、少子化による人口減少は「高齢者」の安心・安全な生活にもつながる課題である。

3. 奈義町の子育て支援施策

- ・妊娠・出産、子育てまでの切れ目のない経済的支援
- ・出産、子育て等に係るメンタル的支援
- 子育てに優しい地域づくり、機運醸成
- ・奈義町が抱える地域課題の解決（住む、働く）

令和6年1月24日(水) 尾道市空き家再生プロジェクトについて

坂の町・尾道の独特の景観は映画やCMをはじめとする様々なメディアで全国、全世界に紹介され、尾道の代名詞のように伝えられているが、一方では車中心の社会への変化や核家族化、少子高齢化による中心市街地の空洞化といった現代の社会問題を多く抱えているエリアであり、斜面地や路地裏などの住宅密集地に増え続ける空き家問題が深刻であり魅力満載の坂のまちには、300を超える空き家が存在し、駅から2キロという徒歩圏内に500軒近い空き家があるのではないかと推測され、その多くは長年の放置により廃屋化しており、建て替えや新築不可能なロケーションにおいて、現存する空き家をいかにうまく活用し、後世に伝えていくかが最重要課題となっている。

そんな空き家の再生事業を通して古い町並みの保全と次世代のコミュニティの確立を目的として活動している。

令和6年1月25日（木） 井原市行政視察

世界が認めた「美しい星空」の下でのまちづくり推進事業について

井原市美星地区

・鎌倉時代初期の承久年間には、流れ星が空中で3つに割れて落ちたとされる伝説（星尾降神伝説）も残るなど、星とのかかわりの深いまちである。

・1988年1月に環境庁により全国108の自治体が「星空の街・あおぞらの街」に選定された。

天体観測環境の保全の取組

- ・「美しい星空を守る美星町光害防止条例」の制定
- ・「星空保護区」への認定

保護区認定後の星空観光の推進

- ・美星町観光協会×JR西日本×日本旅行による看板商品化プロジェクトなど官民連携観光事業に取り組む。

岡山県奈義町の「子育て支援政策」に対する所感

人口は約5,700人の小さな町であるが、子育て世代に的を絞って切れ目ない経済支援をしている。この切れ目のない手厚い経済支援を整えることで、子育て世帯に支持され、令和元年度には合計特殊出生率2.95%を達成している。出生率に関しては自衛隊駐屯地の影響が大きく、自衛隊員の転勤などで大きく下がることもあるとのことだった。

住んでもらうため、良質な分譲地には業者等に補助金を出すということであるが、本市においても実施していることである。将来的には人口減少は避けられないとのことであるが、奈義町は人口減少を最大の課題としてさまざまな施策に取り組んでいる。本市においても人口減少克服にむけたさまざまな取り組みを実施し、持続可能なまちづくりを進めなければならないと考える。

広島県尾道市の「尾道市空き家再生プロジェクト」に対する所感

空き家を再生し、尾道らしいまちづくりを目指している。空き家を地域資源として活用することで古い町並みの保全に成功していた。接道がなかったり、狭隘な地域で難しいところもあると思うが、再生して利活用する取組は参考となった。また、活動を通じて利益を出していかなければ長く続けられないことであり、バランスよくマネジメントしていることに感銘を受けた。

本市においても空き家は増加傾向であり、放置すれば危険度が増していくなど問題が発生するため、空き家対策は急務となっている。空き家等の有効活用や住宅の流通支援など積極的に取り組む必要があると考える。

岡山県井原市の「世界が認めた「美しい星空」の下でのまちづくり推進事業」に対する所感

星空保護区に認定された井原市美星町では、「地域が一丸となって星空環境の保全に取り組むことで、観光誘客を促進し、交流人口・関係人口の増加を図っていた。星空は夜でないと見れないため、観光客の受入れの観点から宿泊施設の整備が急務と感じた。近い将来、完備されるとのことなので、地域活性化に今後の展開に大きな期待を寄せるものである。

本市においても観光資源を掘り起こし、地域の魅力向上と経済発展につながる可能性を感じる事ができた。